

# 第15回東海北陸作業療法学会

## 記録集

(学会テーマ)

### 作業療法イノベーション 「作業」の深化と拡大とうねりの先に

■会期:平成27年11月28日(土)~29日(日)

■会場:じゅうろくプラザ(岐阜市橋本町1丁目10番地11)

#### ■後援

- ・岐阜新聞・岐阜放送
- ・岐阜県園芸福祉協会
- ・岐阜県言語聴覚士会
- ・中日新聞社
- ・岐阜県
- ・岐阜県医師会
- ・岐阜県理学療法士会
- ・岐阜県社会福祉協議会
- ・岐阜県看護協会
- ・岐阜県精神科病院協会
- ・岐阜県精神保健福祉士協会
- ・日本作業療法士協会
- ・岐阜市
- ・岐阜県老人保健施設協会
- ・岐阜県病院協会
- ・岐阜県介護福祉士会
- ・岐阜観光コンベンション協会

#### ■協賛

- ・医療法人社団誠広会
- ・学校法人豊田学園 岐阜保健短期大学
- 平野総合病院
- ・医療法人社団登豊会 近石病院
- 岐阜中央病院
- ・医療法人社団友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ
- 岐阜リハビリテーションホーム
- ・学校法人誠広学園 平成医療短期大学
- ・社会医療法人 養南病院
- ・朝日大学歯学部附属村上記念病院
- ・特定医療法人フェニックス
- ・社会医療法人厚生会 木沢記念病院
- ・サンビレッジ国際医療福祉専門学校

学会終了のご挨拶

『学会を終えて～発展的実践者になろう～』

---



第15回東海北陸作業療法学会 学会長 柴 貴志  
(岐阜県立多治見病院)

---

第15回東海北陸作業療法学会(兼第19回岐阜県作業療法学会)を無事に終えることができました。ご参加頂けた500名近くの方々には、満足とともに、パラダイム・シフトとイノベーションについては確認する機会になったのではないのでしょうか。

作業療法士にとって、「作業」は中核であります。シンポジウムで、常葉大学の野藤先生が提示されました、従来のモデルが基盤としていた生体力学的モデルに加えて、作業遂行の評価をして、作業療法介入過程に作業遂行モデルを加えていくことが、作業療法を“見える化”していきます。

日々臨床の中で、「作業」を追求する姿勢がイノベーションを喚起します。発展を施行し、「作業」をクライアントと供に実践する姿勢こそが今求められています。繰り返しますが、発展的であると同時に実践者としての作業療法士であろう！

学会両日の運営に際して、県士会会員の方々には非常にお世話になりました。不手際もあり、ご迷惑もおかけしましたが、流石に作業療法士、心配を他所に見事な運営遂行をしていただきました。この場をお借りして感謝を述べさせていただきます。ありがとうございました。

次に訪れる7年後の学会では、どこまでイノベーションされているか楽しみです。

■学会スケジュール 1日目 <11月28日(土)>

会場	ホール	中会議室1	中会議室2	小会議室1	小会議室1
9:30					
10:00					
10:30		教育セミナー1 介護予防における 地域介入の可能性 加藤 清人 (平成医療短期大学) 座長:木村 大介	技術講座1 がんの リハビリテーション 田中 一彦 (松阪中央病院) 座長:寺下 美智子	ポスター 貼り付け	各 県 士 会 相 互 情 報 交 流 ブ ー ス 開 設
11:00					
11:30	開会式				
12:00					
12:30	学会長講演 作業療法の イノベーション 柴 貴志 岐阜県立多治見病院 座長:森 義弘	口述発表	口述発表		
13:00		身体障害領域	精神障害領域	ポスター 掲示	
13:30					
14:00					
14:30				ポスター 発表①	
15:00	特別講演				
15:30	最先端医療 ロボットと リハビリテーションの 融合 川崎 晴久 (岐阜大学) 座長:柴 貴志		技術講座2 学校教育との連携の 作業療法 加藤 寿宏 (京都大学) 座長:渡邊雄介	ポスター 発表②	
16:00					
16:30					
17:00	教育セミナー2 作業療法の「これまで」と 「これから」と 田島 明子 (聖隷クリストファー大学) 座長:古松山 健吾		技術講座3 コミュニケーション スキルの 磨き方と実践方法 宮口 英樹 (広島大学) 座長:高橋 一滋		
17:30				ポスター 撤去	
18:00	レセプション				

■学会スケジュール 1日目 <11月29日(日)>

会場	ホール	中会議室 1	中会議室 2	小会議室 1	小会議室 2	
9:00	受付					
9:30	シンポジウム	口述発表		口述発表	各県士会相互情報交流ブース開設	
10:00	作業遂行を科学する 小林 幸治 (目白大学)	身体障害領域		身体障害領域		
10:30	藪脇 健司 (吉備国際大学)	口述発表				
11:00	野藤 弘幸 (常葉大学)	その他				
11:30	座長:永井 貴士					
12:00						
12:30	技術講座 4					
13:00	市民公開講座	自動車運転再開のポイント 藤田 佳男 (目白大学)				
13:30	終末期医療と リハビリテーション	座長:竹中 孝博				
14:00	小笠原 文雄 (小笠原内科)	技術講座 5 エビデンスに基づく作業療法 ～ポバース概念からの見解～ 金子唯史 STROKE LAB				
14:30	座長:足立 淳平					
15:00	閉会式					

学会の様様

開会式



市民公開講座・シンポジウム





## 口述発表



## ポスター発表



## レセプション(会場1F ラ・ローゼ・プロヴァンス)







■会計決算

○収入の部

項目	金額(円)	算出内訳
参加費	3,492,500	事前受付 2,345,000 円
		・学会参加費 2,000,000 円 (324 名)
		一日参加 376,000 円 94 名
		両日参加 1,596,000 円 228 名
		非会員 28,000 円 2 名
		・レセプション参加費 345,000 円 (69 名)
		当日受付 1,139,500 円
		・学会参加費 1,079,500 円 (285 名)
		一日参加 472,000 円 118 名
		両日参加 328,000 円 41 名
学生 51,500 円 103 名		
非会員 14,000 円 10 名		
事前受付当日参加 88,000 円 1日目:1名 2日目:12名		
・レセプション参加費 60,000 円 (12 名)		
学会誌販売代 8,000 円 (16 名)		
補助金	100,000	岐阜観光コンベンション協会
	130,000	一般補助金 (9施設)
繰越金	653,135	第8回東海北陸学会繰越金
県士会補助	439,313	
銀行利息	50	
計	4,814,998	

○支出の部

項目	金額(円)	算出内訳
会場・設備費	3,539,478	会場費・付属設備費など (JTB)
運営費		運営備品 (JTB)
事務費	74,736	運営備品・消耗品 (用紙・印刷、垂れ幕、その他)
講師謝礼費	411,980	講師料・交通費・宿泊費など 343,980+68,000 (JTBから請求分)
印刷製本費	421,416	プログラム集・学会誌 1,000 部 (JTB)
通信費	96,468	切手・FAX・電話・メール便など
交際費	32,087	講師弁当代・お茶・記念品など
会議費	216,603	準備会議における交通費など
福利厚生費	22,230	会議での委員お茶代など
計	4,814,998	

■学会組織

学会長	柴 貴志(岐阜県立多治見病院)	
副学会長	加藤清人(平成医療短期大学)	
事務局長	世良龍哉(平成医療専門学院)	
	総務部	小澤莉砂(平成医療短期大学)
	財務部	石田啓子(平成医療短期大学)
	渉外部	富田晃弘(平野総合病院)
	広報部	足立淳平(岐阜中央病院)
	広報部員	廣瀬 武(揖斐厚生病院)
学術局長	永井貴士 (平成医療短期大学)	
	演題採択部	古桧山建吾(関中央病院)
	プログラム部	萩野勝也(岩佐病院・岩佐マタニティ)
	学会誌編集部	藤井稚也(岐阜保健短期大学)
運営局長	石川真太郎(山田病院)	
	会場運営部	中村浩哉 (山田病院)
	受付・案内部	廣瀬哲司 (岐阜県総合医療センター)
	レセプション部	須貝里幸 (大垣市民病院)
	会場企画部	竹中孝博 (平成医療短期大学)